



# 今宿小学校 学校だより



令和7年度 2月号 令和8年1月30日発行

1月、新年を迎えしばらくは暖かい日もありましたが、1月20日(火)大寒以降は、厳しい寒さが続きました。1月13日に始まったドッジボール大会には、たくさんの応援ありがとうございました。今年度は、在校生の応援スペースを設け、保護者の皆さんと子どもたちのたくさんの応援を受け、張り切ってボールを追う子どもたちの姿が素敵でした。2年生、1年生、3年生が大会を終えた次の週に、4年生、5年生、6年生の大会開催となりました。ちょうど5年生の大会の日に大寒を迎えたのですが、厳しい寒さにも関わらず、5年生、6年生の「熱いゲーム」に、ボール回しの技の凄さに感心し、応援にも熱が入りました。その後も、ドッジボールで他学年と対戦するなどの交流も広がっていました。2月4日には、立春を迎えます。春は一步一步近づいてきていることを励みに、寒さを乗り切っていきたいと思います。

## 集い、学び、夢持つ子どもたち

1月29日(木)に茅ヶ崎市畜産会主催の「畜産ふれあい体験事業」が行われました。牛、子牛、羊、ヤギを前に、興味津々の子どもたちでした。

校庭に、大きなトラックで運ばれてきた牛のオブジェを見ながら「牛って、あんなにでっかいんだ。」とのつぶやき。「来年はあるの。」と自分たちの進級した時に期待を込める質問。20分休みになると、牛を間近に見たくてサクギリギリまで行く子どもたち。やはり、「本物」が子どもたちの興味関心を高める力はすごいな、と思いました。

今回の事業の対象者、3年生とばぶら級のこどもたちは、牧場のお話や、獣医師さんのお話を聞いた後、3時間目に搾乳体験、羊・ヤギとのふれあい、子牛とのふれあい(聴診器体験)、オブジェの前で集合写真と質問タイム、の4つの体験を楽しみました。「すごくあったかくて、やわらかかった。」「ちちしばり、またやりたい。」「牛の心臓の音、ドクドクすごかった。自分のより速かったよ。」「羊の毛がすごく柔らかかった。温かったよ。」「牧場、いつてみたいなあ。」と、こちらからの質問に、興奮しながら答えてくれました。

そして、給食では、ロールパン、湘南ちがさき MILK を使った鶏肉とかぶのクリーム煮、ミニボトルに入った湘南ちがさき MILK、ゆで野菜サラダを、いただきました。室田にある柿沢牧場の生乳を東海岸にあるプレンティーズさんが飲用牛乳に加工して届けてくれた【湘南ちがさき MILK】。子どもたちは、給食時間に見たビデオに感動し「このことをおうちの人に知らせたい。」という思いももっていました。

この事業を通して、子どもたちは、都市化が進む茅ヶ崎市内でも、茅ヶ崎市産の作物・家畜が大切に育て続けられていることを知りました。そして、見たこと、体験したことを刺激に、新しく知ったことを伝えていきたい、もう一度体験してみたい、という自分たちの思いをもつこともできました。畜産会を始め、今回の事業を支えてくださった方々、本当にありがとうございました。皆さんの思いを受け止め、子どもたちは自ら「伝えていきたい」という主体性、表現することへの意欲を育むことができました。

